



### 夏休み作品展開催中！

8月26日から再開した学校生活でしたが、台風10号の影響で臨時休校や10時登校が実施されました。進路が読みづらい台風だったため、対応の判断も難しく、連絡が遅くなった部分もあったかと拝察します。各家庭におかれましては、急な連絡にもかかわらず、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。大きな被害の報告もなく、ホッとしたところです。

さて、今週から徐々に通常の学校生活に戻ってきているところですが、まだまだ生活リズムが整わず苦労していたり、最近の朝晩の気温の変化から体調を崩し始めていたりしている本小っ子もいるようです。学校再開時にお願いした、適度な運動、十分な栄養、睡眠を心がけ、健康に留意してほしいと思っています。

明日、6日(金)は授業参観が予定されています。お忙しいところ恐縮ですが、本小っ子の頑張る姿をどうぞ御参観ください。

あわせて、校舎内で実施されている夏休み作品展の様子もぜひご覧ください。自由研究や工作等は次年度の取組の参考になるかもしれません。

### よろしくお願ひします！

9月2日(月)から本山小学校に新しい先生が赴任されました。

名前は河村賢拓(かわむらたかひろ)先生です。

本小っ子を教え導く教職員の一員として、かがやく学級担任として、まずは慣れることを目標に頑張っているところです。

月曜日にオンラインで全校児童にあいさつした河村先生。とても緊張したようですが、休み時間にはたくさんの本小っ子から声をかけられ、安心したようです。保護者、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

### 子育て四訓

夏休み期間に、資料の整理をしていたら、どこかの講演会で教えていただいた内容のメモを発見しました。「子育て四訓」というものです。

- 一 乳児はしっかり肌を離すな
- 二 幼児は肌を離せ、手を離すな
- 三 少年は手を離せ、目を離すな
- 四 青年は目を離せ、心を離すな

おそらく、私自身が親としてあるいは教師として、子どもにどのように関われば良いのか迷っていた時期だったのでしょう。

この世に完全な人間は存在しません。不完全である私たち大人が、さらに未成熟な子ども達に関わるのですから、うまくいかないのはある意味当然のことです。

子どもが悩んでいれば一緒に悩み、甘えが足りなければたっぷり甘えさせ、甘えが過ぎていれば叱咤激励し、うれしいことがあれば一緒に喜ぶような関わり方をしたい。「子ども達一人ひとりの自立に向けた一番の応援団でありたい」そんな思いを強くした講演会だったことを記憶しています。子ども達と同じような失敗を私たちも経験しています。経験を積んだ大人は子どもより客観的に物事をとらえることができる存在です。

この「子育て四訓」はそれぞれの成長段階において離すことの大切さを教えてくれます。一人ひとりの成長段階を厳密に分けることはできませんが、できそうなことは挑戦させて見守り、できないことは手伝うという視点で関わっていきたいものです。

【つばやき】  
 テレビやラジオから流れてくる音楽が昔の記憶を呼び戻すことがある。  
 ある曲を聴くと当時の景色や感情が懐かしく蘇って来る。  
 「ペッパー！」「妹と踊っているの。」  
 「この支配からの：」なぜか共感したあの頃。  
 「雲はわき、光あふれて：」  
 「白球を必死に追ったあの頃。」  
 「走る、走る：」歌いながら走り続けたあの頃。  
 いろいろな場面といる。いろいろな曲がリノクしている。いろいろな昔、懐メロの番組を思い出そうに見ていた母の姿を思い出す。その時の母も人生のさまたげな場面を思いうかべていたのだろう。  
 懐かしさ、勇気を与えてくれる時もある。  
 「一万一回目は何か変わるかもしれない：」  
 「本当に大切なものは隠れて見えぬ：」  
 「あのね、大好きだよ、何万回も伝えよう：」  
 「君の足の下の下には、とても不安なことも嫌なことはあるんだぜ：」  
 「不安なことや嫌なことはこれからは当然やってくるだろう。」  
 「歌唄えば、私：」  
 「晴れる」